

金澤町家だより

【第22号】
2014. 12



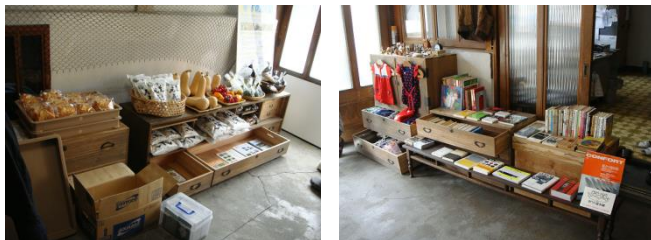
【編集・発行】NPO法人 金澤町家研究会／広報交流部

■町家巡遊 2014

今年で7回目となる「町家巡遊」が9月20日(土)～9月28日(日)の9日間にわたり開催されました。今年は笠市町の紙谷漁網店を拠点会場に1階と2階の各部屋で、展示やワークショップ、カフェや漁網資料の展示、野菜の直売など、様々な催しを企画しました。部屋ごとにそれぞれ異なる使い方をすることで、壊されがちな大きな町家はどのように保存・継承していけるのか、シェアによる活用を紹介しました。また、町家ツアーでは、平成27年3月の新幹線金沢開業によって変わりゆく金沢駅周辺を中心に、此花町・笠市町・武蔵町周辺をガイドとともに散策・見学しました。町家ショップイベントでは、展示会やワークショップ、期間限定メニューなど、町家ショップの方々のご協力による素敵な企画が目白押しとなりました。紙谷漁網店には期間中ほぼ毎日のように訪ねてくださる方もおられるなど多くの方に来場いただき、今回も大盛況に幕を閉じました。今年のイベントの様子は、金澤町家巡遊ブログ「町家瓦版」でもご紹介中です。<http://kanazawa-machiya.net/mj/>



紙谷漁網店(笠市町)
黒漆喰の壁に赤瓦屋根をもつ大型の町家。1階のチャノマ・ザシキは明治期の建築で、趣向を凝らした2階の部屋は昭和初期の改修。欄間や障子、襖には精緻な細工が施され、石組みの美しい中庭の奥には土蔵が並ぶ。金澤町家のさまざまな魅力が詰まった建物。



ドマでは河北潟の砂丘地で農業・化学肥料不使用で作られた野菜などの販売と、紙谷邸から出てきた古道具・古着などのみの市や漁網の計り売りも。
協力：NPO法人河北潟湖沼研究所



2階オウセツマでは梅村正芳氏による植物画の原画展示。期間中には植物画教室も開催。ミセニカイでは金沢の町家を撮り続けてきた写真家・田村やすこ氏のモノクロ写真190枚をスライド上映。



町家レクチャーは、河北潟の環境や生物多様性を守るための研究活動のお話や、金沢三文豪・徳田秋聲ゆかりの町家見学などを企画。写真は町家で鼓体験の様子。

メインイベント1 紙谷漁網店 9/20(土)～28(日) 10:00～17:00

梅村正芳 植物画展
田村やすこ展「まちかど」
加賀織下ドリエ
青の茶
すずめ野菜直売所
漁網資料館

メインイベント2 町家ツアー

9/21(日) 13:30-15:00
9/27(土) 13:30-15:00
9/28(日) 13:30-15:00

メインイベント3 町家レクチャー

9/21(日) 10:30-12:00
9/22(月) 11:00-14:00
9/23(火祝) 13:30-15:00

金澤町家巡遊 2014 イベントガイド



1階ザシキは巡遊期間限定のカフェに。期間中5組のカフェが交代で出店しました。協力：あうん堂

土蔵では、貴重な編み機や手製の道具の展示と、漁網の製法・歴史を紹介。協力：金沢美術工芸大学



2階ザシキでは台湾茶会や書道、お香づくりなど4つのワークショップを開催。



2階コマには加賀織の伝統工芸士・高田千春氏の公開工房。希望者は「ひげブローチ刺繍」を体験。



人気の町家ツアー、今年は「漁網店&吹き抜けツアー」「知られざる此花ツアー」「村長と歩く、駅周辺ツアー」の3本でした。駅周辺は静かな住宅地が多いのですが、これからどんどん変化していきますそうです。この機会にゆっくり町並みを散策できたと、どのツアーも大変好評でした。

町家ショップでは、手仕事展・写真展などの企画展示、ごはん教室、着物レッスン等のワークショップ、町家箱、町家型巣箱の工作教室もありました。毎年お楽しみの一つでもある町家メニューは、ギャラリー椋さんの桃のクラフティー、高木靴商店さんの甘酒ゼリーを始めとして、様々に趣向をこらした味を今年も楽しめました。

【謝辞】「町家巡遊 2014」にご協力いただいた町家の方々、参加いただいた方々に感謝申し上げます。

■優良金澤町家認定式が行われました

当会では、行政から単体の保存指定を受けている建物や伝統的建造物群保存地区以外で、良好に活用され外観に金澤町家の特徴をよく残している建物に対して、平成22年から「優良金澤町家」の認定をさせていただいております。今年は新たに12軒の町家が認定され、合わせて112軒になりました。

平成26年11月22日(土)14時から、近江町いちば館4階研修室において認定式と講演会が行われ、延べ50名余りの参加がありました。認定式では、10組18名の利用者の方々に出席していただき、直接認定証をお渡しすることができました。スライドに映された町家の写真について、建物の説明とともに町家利用の想いを語っていただきました。夏の涼しさ、冬の寒さとともに、改修時の寒さ対策の工夫など、興味深く聴かせていただきました。「金澤町家」の表示プレートは、後日、研究会担当者がお届けするとともに、家屋前面に掲出します。

認定式終了後には、「あらためて考えてみる町家の魅力」と題して、橋本浩司氏(橋本建築造園設計代表)による講演会が行われました。これまで関わってきた様々な町家の改修事例を紹介しながら、町家の魅力について語っていただきました。例えば、町家は、外から内の空間に入るとつれて、床や建具の特性も硬から柔に変化すること、こうした土地や建物の特性を理解し、改修にあたって特性を踏まえてデザインすることなど、設計の姿勢もうかがえました。また、きちんと手入れをすれば、いつまでも使えることが伝統的家屋の魅力のひとつでもあるということでした。



上写真：優良町家認定プレートの掲出例

下写真：認定式



橋本浩司氏



講演会

■優良金澤町家紹介コーナー

◇ 森忠商店(尾張町2-11-24)

天保13(1842)年に開業し、明治30年代に旧北國街道(国道159号線)沿いに移転してきた塗料専門の老舗です。柿渋、ベンガラなどの天然原料から作られた自然塗料をはじめ、様々な塗料や建築用品を扱っています。現在の建物は道路が拡幅された大正7年頃の建築です。間口が8間と広く、軒高も高い立派な町家建築です。また、2階大屋根の上には、中央に町を見渡せる望楼と、左に明かりとりの天窓があります。

【森忠商店(日祝休・土不定休)8:30~18:00】



森忠商店

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】事務局

〒920-0831 金沢市東山2-1-7 ギャラリー椋内 Tel. 076-253-3517
E-mail kanazawa-machiya@nifty.com
http://kanazawa-machiya.net